

① 土づくり (1㎡あたりの量)

- ・石 灰 100g
※石灰は1週間前に施し、耕しておく
- ・牛糞堆肥 3リットル
- ・肥 料 50g

※根粒菌の働きで土壌内から窒素分を吸収することができるので、肥料の量をほかの野菜と比べて半分程度に減らしましょう。

① 苗作り

- ・セルトレイと呼ばれる苗を育てるトレイに培養土を入れて、一ヶ所に2つずつ種をまきます。
- ・芽が出て、植えつけられるようになるまでに2~3週間くらいかかるので、植え付けから逆算して種をまきましょう。
- ・種は鳥の大好物で狙われます。発芽するまではセルトレイ全体を不織布で覆うとよいです。
- ・芽が出るまでは土を乾燥させないように、毎日水やりをしましょう。

② 植え付け

- ・新潟では5月~6月に苗を植え付けます。
- ・株間は50cm程度あけます。
- ・植え穴をあけたら、水を入れてから植えます。(根付きがよくなります)
- ・小さいうちは、株元の種を鳥が狙ってきますので、ネットをかけておきます。

③ 追肥

- ・植え付けの一ヶ月後から、2~3週間間隔で、マルチをめくって畝の肩に30g/㎡を施します。
- ・生長してネットにつくようになったら、ネットを取り外します。

④ 収穫

- ・枝豆は株の下から太ってきます。全ての枝豆が取り頃になることはないので全体の8割程度が膨らんだら収穫しましょう。

【留意点】

- ・上段でも記載しましたが、肥料を多くやりすぎないようにしましょう！
- ・枝豆は収穫後すぐに味が落ちてきます。昔から「湯を沸かしてから収穫しろ」と言われるほど、収穫したばかりの枝豆は美味です。これが食べられるのは野菜づくりをしている人の特権です！